

事業所名		放課後等デイサービス桜実		支援プログラム（参考様式）		作成日		7	年	9	月	11	日
法人（事業所）理念		ひとりひとりの個性を育み社会の一員として、共に成長する											
支援方針		子どもたちが生きていく中で特に必要なのは、「人との関わり」と「身の自立」です。 そのために桜実では、「あそび」、「運動」、「学習指導」この三つを柱にして、療育を行っています。											
営業時間		13	時	30	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握（体温測定・気分把握） ・構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示） ・衣服の着脱（外遊びや水遊び等の活動の前に重点的に取り組む） ・身だしなみや整え方											
	運動・感覚	・姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善 ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動 ・つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供 ・ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動 ・指先トレーニング ・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動											
	認知・行動	・空間・時間等の概念の把握 ・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成 ・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 ・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成 ・ブロック遊びによる空間把握の認知形成 ・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 ・季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動											
	言語 コミュニケーション	・文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用 ・はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化 ・平易な表現等による多様なコミュニケーション											
	人間関係 社会性	・アタッチメント形成（個別面談で自尊心を高める・認める） ・活動前に全体を指差しする等を行い、全体を見渡す機会の設定 ・見本になるこどもの近くに誘う等の関わり・促し ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ ・役割分担のある遊びなどの協同遊び ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動 ・イベントなどを通じた地域との交流											
家族支援		保護者面談・子育て支援相談（随時） 関係機関との連携					移行支援		学校や病院（リハビリテーション）・他の通所先との情報共有 環境変化に向けての課題提示及び実践				
地域支援・地域連携		各関係各所との連絡事項の共有やケース会議等の連携 市内及び市外福祉事業所・児童相談所等との連携 福祉事業所任意研修会への参加					職員の質の向上		採用時研修（入職時に実施） 法定研修 外部研修等（随時）				
主な行事等		各季節イベント行事 学習デイ（集団での学びの機会） 外出イベント											